

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2005 年 6 月 30 日 (30.06.2005)

PCT

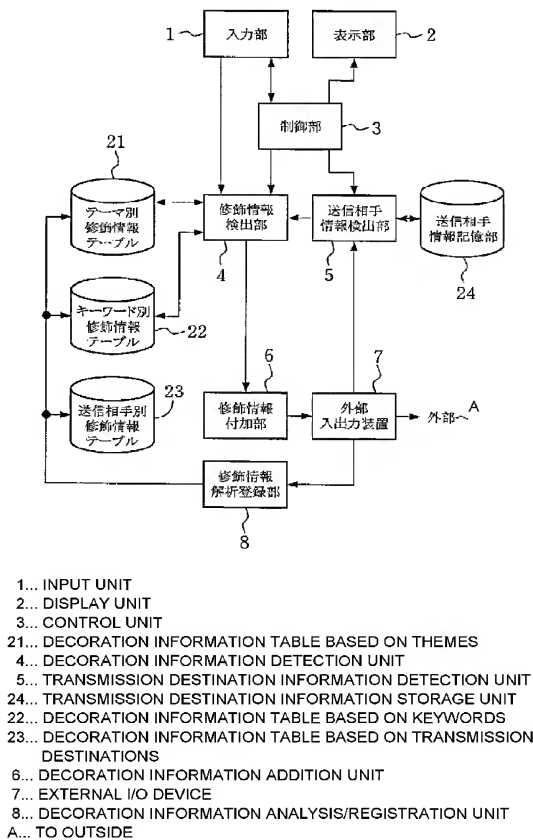
(10) 国際公開番号  
WO 2005/059769 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/21, 17/24 (72) 発明者; および  
(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/018284 (75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 中村 康洋 (NAKA-MURA, Yasuhiro) [JP/JP]; 〒2660005 千葉県千葉市緑区誉田町 2-2 4-7 ラポール 誉田 A 1 1 4 Chiba (JP).  
(22) 国際出願日: 2004 年 12 月 8 日 (08.12.2004)  
(25) 国際出願の言語: 日本語 (74) 代理人: 平木 祐輔 (HIRAKI, Yusuke); 〒1050001 東京都港区虎ノ門 4 丁目 3 番 2 0 号 神谷町 M T ビル 1 9 階 Tokyo (JP).  
(26) 国際公開の言語: 日本語  
(30) 優先権データ:  
特願 2003-418214  
2003 年 12 月 16 日 (16.12.2003) JP  
(71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): シャープ株式会社 (SHARP KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒5458522 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 Osaka (JP).  
(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, IT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE,

[続葉有]

(54) Title: DEVICE FOR CREATING SENTENCE HAVING DECORATION INFORMATION

(54) 発明の名称: 修飾情報付文章作成装置



(57) Abstract: There is provided a device capable of creating a sentence having decoration information with a simple operation. The device for creating a sentence having decoration information includes: an input unit for inputting a sentence of text format by a user; a display unit for displaying video and the sentence of text format; a decoration information table containing combinations of decoration information; a decoration information detection unit for detecting an optimal combination of decoration information from the decoration information table according to a request from the user; and a decoration information addition unit for adding to the sentence the combination of the decoration information detected by the decoration information detection unit. According to the present invention, by storing combinations of decoration information in advance, the user can add a plurality of decoration information to a sentence only by selecting a theme when inputting the sentence.

(57) 要約: 簡単な操作で修飾情報付文章を作成することができる装置を提供する。修飾情報付文章作成装置は、ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する。本発明によると、修飾情報の組み合わせを予め記憶しておき、ユーザは文章の入力時にテーマ等を選択することにより、複数の修飾情報を文章に付加することができる。



SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,  
UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML,  
MR, NE, SN, TD, TG).

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護  
が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA,  
SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ,  
BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE,  
BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU,  
IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR),

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される  
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語  
のガイダンスノート」を参照。

## 明 細 書

### 修飾情報付文章作成装置

#### 技術分野

- [0001] 本発明は修飾情報が付加された文章を作成する修飾情報付文章作成装置に関し、特に、映像上に文章を重ねて表示するのに好適な修飾情報付文章作成装置に関する。

#### 背景技術

- [0002] 従来、テキスト形式の文章に、下線、網かけ等の修飾情報を付加する場合、文字入力操作とは別に修飾情報を付加する操作を行わなければならなかった。例えば、文字入力画面とは別の文字修飾設定画面を表示し、所定の文字領域を選択して、修飾情報の設定処理を行う。従って、例えば、1つの文章に複数の修飾情報を付加する場合、操作が複雑となる。特開平8-44733号公報には、修飾情報を付加する操作を簡単化する方法が提案されている。この公報に記載された例では、予め記憶された複数の修飾情報より所定の修飾情報を選択し、それを文章に付加することにより操作を軽減することができる。

特許文献1:特開平8-44733号公報

#### 発明の開示

- [0003] 従来の手法では、ユーザが作成した修飾情報を記憶するため、ユーザは、一度は、修飾情報を作成しなければならない。また、文章に複数の修飾情報を付加する場合には、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータのように、高度なユーザインターフェースを備える必要があり、例えば、携帯端末では実現できなかった。
- [0004] 本発明の目的は、簡単な操作によって文章に修飾情報を付加することができる修飾情報付文章作成装置を提供することにある。
- [0005] 本発明の目的は、携帯端末のようにユーザインターフェースが簡素なものであっても文章に修飾情報を付加することができる修飾情報付文章作成装置を提供することにある。
- [0006] 本発明によると、修飾情報の組み合わせを予め記憶しておき、ユーザは文章の入

力時にテーマ等を選択することにより、複数の修飾情報を文章に付加することができる。

[0007] 本発明の修飾情報付文章作成装置は、ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する。

[0008] 本発明によると、簡単な操作により修飾情報付の文章を作成することができる。

#### 図面の簡単な説明

[0009] [図1]本発明による修飾情報付文章作成装置の構成を示す図である。

[図2]本発明による修飾情報付文章作成装置において、修飾情報付文章の作成処理を示す図である。

[図3]本発明による修飾情報付文章作成装置において、外部からの修飾情報の取得処理を示す図である。

[図4]本発明による修飾情報テーブル及び送信相手情報記憶部の内容を説明するための説明図である。

#### 符号の説明

[0010] 1…入力部、2…表示部、3…制御部、4…修飾情報検出部、5…送信相手情報検出部、6…修飾情報付加部、7…外部入出力装置、8…修飾情報解析登録部、21…テーマ別修飾情報テーブル、22…キーワード別修飾情報テーブル、23…送信相手別修飾情報テーブル、24…送信相手情報記憶部

#### 発明を実施するための最良の形態

[0011] 以下、この発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、本発明の修飾情報付文章作成装置の構成を示すブロック図である。本例の修飾情報付文章作成装置は、入力部1、表示部2、制御部3、修飾情報検出部4、送信相手情報検出部5、修飾情報付加部6、外部入出力装置7、修飾情報解析登録部8、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22、送信相手別修

飾情報テーブル23、及び、送信相手情報記憶部24を有する。

- [0012] 入力部1は、ユーザがテキスト形式の文章又は文字列の入力、修飾情報の選択を行うユーザインターフェースを有し、キーボード、操作ボタン、マウス等であってよい。表示部2は、映像及びテキスト形式の文章を表示する。制御部3は、修飾情報付文章作成装置の内部の各構成部へ動作要求、情報通知を行う。修飾情報検出部4は、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22又は送信相手別修飾情報テーブル23を参照し、最適な修飾情報の組み合わせを検出する。送信相手情報検出部5は、送信相手情報記憶部24を参照して、送信相手情報を検出する。修飾情報付加部6は、修飾情報検出部4によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する。外部入出力装置7は、外部の機器との間でファイル又はデータの送受信を行う。修飾情報解析登録部8は、外部の機器から送信されたデータの修飾情報を解析し、それをテーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22及び送信相手別修飾情報テーブル23に登録する。
- [0013] テーマ別修飾情報テーブル21は、テーマ別に修飾情報の組み合わせを格納する。キーワード別修飾情報テーブル22は、キーワード毎に修飾情報の組み合わせを格納する。送信相手別修飾情報テーブル23は、送信相手毎に修飾情報の組み合わせを格納する。これらのテーブル21、22及び23は、修飾情報を予め格納する既登録部、修飾情報をユーザが新規に格納する新規格納部、及び、外部から取得した修飾情報を格納する外部情報格納部の3つの格納部を有する。
- [0014] ここで、修飾情報について説明する。本発明にて想定している修飾情報は文字に付加することができる全ての装飾を意味する。従って、文字色、背景色、字体(太字、斜体、下線、取り消し線)、字の大きさ、ハイライト(光輝部)、ブリンク(点滅)、スクロール(文章移動)、絵文字を含む。絵文字は、文章(語句)に対応した修飾情報として扱う。
- [0015] 図4Aに示すように、テーマ別修飾情報テーブル21には、例えば、「電光掲示板」というテーマに対して、「文字色」が「オレンジ」、「背景色」が「黒」、「横スクロール」という修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「テーマ」として、「電光掲示板」を選択し、文章として「ニュースをお知らせします。」を入力した

場合、「ニュースをお知らせします。」の文章が黒色の背景の上にオレンジ色にて表示され且つ横にスクロールされて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「ニュースをお知らせします。」の文章がスクロール表示される。

[0016] 図4Bに示すように、キーワード別修飾情報テーブル22には、例えば、「有効期間」というキーワードに対して、「文字色」が「黒」、「背景色」が「黄」、「字体」が「絵文字」等の修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「キーワード」として、「有効期間」を選択し、文章として「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」を入力した場合、「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」の文章が黄色の背景の上に黒色にて花文字にて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「有効期間が過ぎましたのでお知らせします。」の文章が表示される。

[0017] 図4Cに示すように、送信相手別修飾情報テーブル23には、例えば、「送信相手」が「A」に対して、「文字色」が「赤」、「背景色」が「白」、「字体」が「斜体」等の修飾情報の組み合わせが格納されている。従って、ユーザが、例えば、「送信相手」として、「A」を選択し、文章として「返事を下さい。」を入力した場合、「返事を下さい。」の文章が白色の背景の上に赤色にて斜体文字にて表示される。このような修飾情報が付加されたテキストを、例えば、画像信号に多重化することができる。それによって、画像上に「返事を下さい。」の文章が表示される。

[0018] 図4Dに示すように、送信相手情報記憶部24は、ユーザが修飾情報付文章を送信する相手、送信相手が属するグループ番号、メールアドレス(電話番号)、送信方法等を格納し、アドレス帳として機能する。グループ番号は、例えば、友人、職場、趣味等の分野毎に、ユーザが設定する。

[0019] 本例によると、以下に説明するように、ユーザは、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22及び送信相手別修飾情報テーブル23を使用して、自動的に修飾情報の組み合わせを検索し、自動的に修飾情報の組み合わせを文章に付加することができる。しかしながら、ユーザは、入力部1より修飾情報の組み合わせを入力し、入力した修飾情報の組み合わせを文章に付加することもできる。

- [0020] 図2を参照して、本発明の修飾情報付文章作成装置により、自動的に修飾情報が付加された文章を作成する動作を説明する。ステップS11にて、制御部3は、表示部2に「文書」及び「適用範囲」の入力画面を表示する。「文書」はテキスト形式にて入力される。「適用範囲」は、文章に修飾情報を付加する範囲を表す。例えば、全文、1〜3行、3頁等である。制御部3は、ユーザによる「文書」及び「適用範囲」の入力を検出すると、ステップS12に進む。
- [0021] ステップS12にて、制御部3は、表示部2に「修飾情報の検出方法」の選択画面を表示する。「修飾情報の検出方法」として、「テーマ対応」、「キーワード対応」及び「送信相手対応」及び「直接入力」の4つの方法を表示し、ユーザへいずれか一つの選択を要求する。
- [0022] ステップS13にて、制御部3は、ユーザが「テーマ対応」、「キーワード対応」、「送信相手対応」及び「直接入力」のうちどれを選択したかを判定する。「テーマ対応」を選択した場合はステップS14に進み、「キーワード対応」を選択した場合はステップS15に進み、「送信相手対応」を選択した場合はステップS16に進み、「直接入力」を選択した場合はステップS17に進む。
- [0023] ステップS14にて、「テーマ対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「テーマ」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「テーマ」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「テーマ」を修飾情報検出部4に送信する。
- [0024] ステップS15にて、「キーワード対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「キーワード」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「キーワード」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「キーワード」を修飾情報検出部4に送信する。
- [0025] ステップS16にて、「送信相手対応」に関する処理を行う。制御部3は、表示部2に、「送信相手」の入力又は選択画面を表示する。ユーザは、画面上にて「送信相手」を入力又は選択する。制御部3は、ユーザから得られた「送信相手」を修飾情報検出部4に送信する。
- [0026] 本例では、「送信相手」は、上述のようにユーザが入力又は選択してもよいが、以下

に説明するように、自動的に検出してもよい。まず、送信相手情報検出部5は、外部入出力装置7から送信先に関する情報を取得する。送信先に関する情報には、送信方法及び送信先のアドレス、電話番号等がある。送信方法は、例えば、ファイル出力かそれともテレビ電話などの回線出力か、等である。送信相手情報検出部5は、外部入出力装置7から得られた送信先に関する情報に基づいて、送信相手情報記憶部24から送信相手を検出する。送信相手情報検出部5は、送信相手情報記憶部24から得られた送信相手を修飾情報検出部4に送信する。

- [0027] ステップS17にて、「直接入力」に関する処理を行う。この場合、ユーザが直接入力した文字の選択範囲、修飾情報をすべて入力し、テキストを作成する。作成後、ステップS21へ進む。
- [0028] ステップS18にて、修飾情報検出部4は、テーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22及び送信相手別修飾情報テーブル23から修飾情報の組み合わせを検出する。ユーザが「テーマ対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「テーマ」に基づいて、テーマ別修飾情報テーブル21から修飾情報の組み合わせを検索する。ユーザが「キーワード対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「キーワード」に基づいて、キーワード別修飾情報テーブル22から修飾情報の組み合わせを検索する。ユーザが「送信相手対応」を選択した場合には、ユーザが選択した「送信相手」又は送信相手情報検出部5から提供された送信相手に基づいて、送信相手別修飾情報テーブル23から修飾情報の組み合わせを検索する。修飾情報検出部4は検出した修飾情報の組み合わせを修飾情報付加部6へ提供する。
- [0029] ステップS19にて、修飾情報付加部6はユーザが入力したテキスト形式の文章に修飾情報の組み合わせを付加する。ステップS20にて、制御部3は表示部2に修飾情報の組み合わせが付加された文章を表示し、ユーザに承認を求める。ステップS21にて、ユーザから承認が得られたか否かを判定する。承認が得られた場合はステップS22に進み、承認が得られない場合はステップS18に戻り、再度、修飾情報の組み合わせの検出を行う。
- [0030] ステップS22にて、修飾情報付加部6は修飾情報の組み合わせが付加された文章を外部入出力装置7へ出力する。外部入出力装置7は修飾情報の組み合わせが付



加された文章の出力処理を行う。例えば、ファイルへの記録する場合には、多重化処理を行い、テレビ電話などの回線に送信する場合には、送信処理を行う。

- [0031] 図3を参照して本発明の修飾情報付文章作成装置において、外部からの取得データから修飾情報を取得する動作を説明する。ステップS31にて、外部入出力装置7は、外部から送信されたデータからテキスト形式の文章を分離し、それを修飾情報解析登録部8へ送出する。
- [0032] ステップS32にて、修飾情報解析登録部8は、テキスト形式の文章に含まれる修飾情報を解析する。ステップS33にて、制御部3は、表示部2にて、ユーザに「外部から取得した修飾情報を登録するか否か」の判断を要求する。ユーザからの「登録する」の指示を検出した場合は、ステップS34に進み、ユーザからの「登録する」の指示を検出しない場合は、処理を終了する。ステップS34にて、修飾情報解析登録部8は、外部から取得した修飾情報をテーマ別修飾情報テーブル21、キーワード別修飾情報テーブル22及び送信相手別修飾情報テーブル23の新規登録部に格納する。
- [0033] 本例によると、携帯端末のようにユーザ入力インターフェースが簡素な機器でも、機器側にユーザが頻繁に使用する修飾情報の組み合わせを保持することにより、修飾情報の組み合わせを文章に自動的に付加することができる。従って、複数の修飾情報が付加された文章を容易に作成することができる。
- [0034] 本例によると、ユーザが選択したテーマ、キーワード及び送信相手に応じて修飾情報の組み合わせを自動的に選択し、文章に付加する。また、付加する修飾情報を外部から取得することができるから、修飾情報の作成が容易となる。
- [0035] 以上、本発明の例を説明したが、本発明は上述の例に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲にて様々な変更が可能であることは当業者に容易に理解されよう。

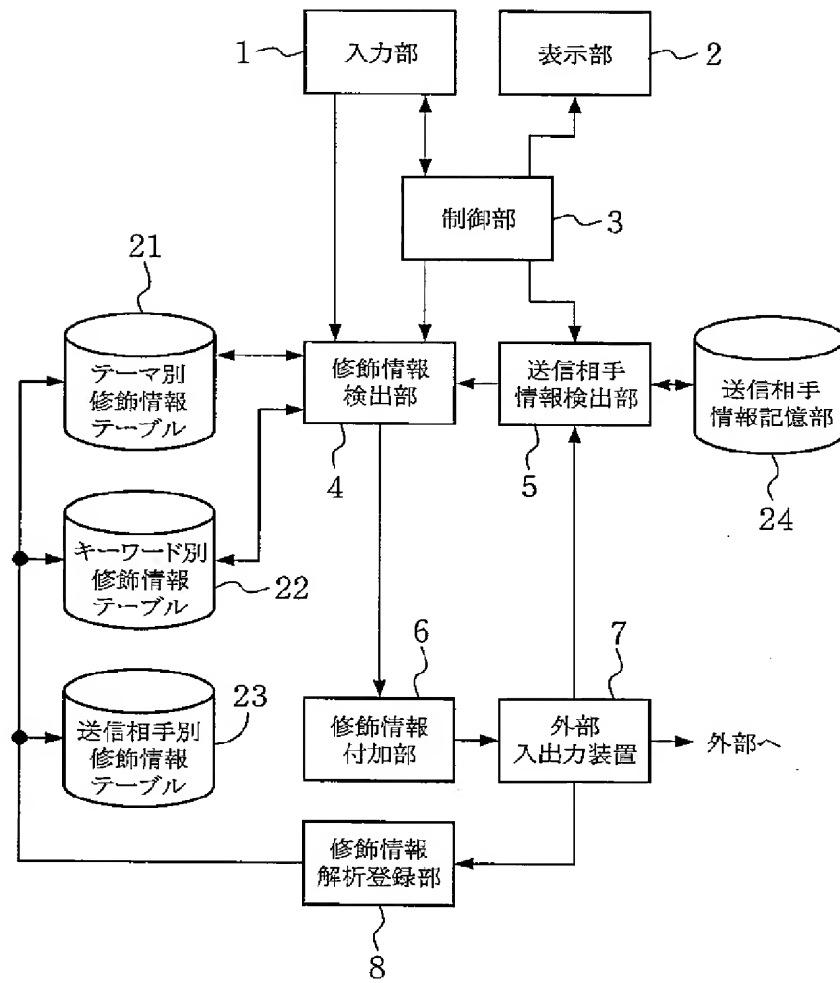
## 請求の範囲

- [1] ユーザがテキスト形式の文章の入力するための入力部と、映像及びテキスト形式の文章を表示する表示部と、修飾情報の組み合わせを格納する修飾情報テーブルと、ユーザの要求に応じて、上記修飾情報テーブルから最適な修飾情報の組み合わせを検出する修飾情報検出部と、該修飾情報検出部によって検出された修飾情報の組み合わせを文章に付加する修飾情報付加部とを有する修飾情報付文章作成装置。
- [2] 請求項1記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルはテーマ別に修飾情報の組み合わせを格納するテーマ別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力したテーマに基づいて、上記テーマ別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。
- [3] 請求項1記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルはキーワード毎に修飾情報の組み合わせを格納するキーワード別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力した文章のキーワードに基づいて、上記キーワード別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。
- [4] 請求項1記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルは送信相手毎に修飾情報の組み合わせを格納する送信相手別修飾情報テーブルを有し、上記修飾情報検出部はユーザが入力した送信相手に基づいて、上記送信相手別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。
- [5] 請求項4記載の修飾情報付文章作成装置において、送信相手に関する情報を格納する送信相手情報記憶部と、外部の機器との間で通信を行う外部入力出力装置と、該外部入力出力装置からの情報に基づいて、上記送信相手情報記憶部を参照し、送信相手を検出する送信相手情報検出部と、を設け、上記修飾情報検出部は、上記送信相手情報検出部によって得られた送信相手に基づいて、上記送信相手別修飾情報テーブルより修飾情報の組み合わせを検出することを特徴とする修飾情報付

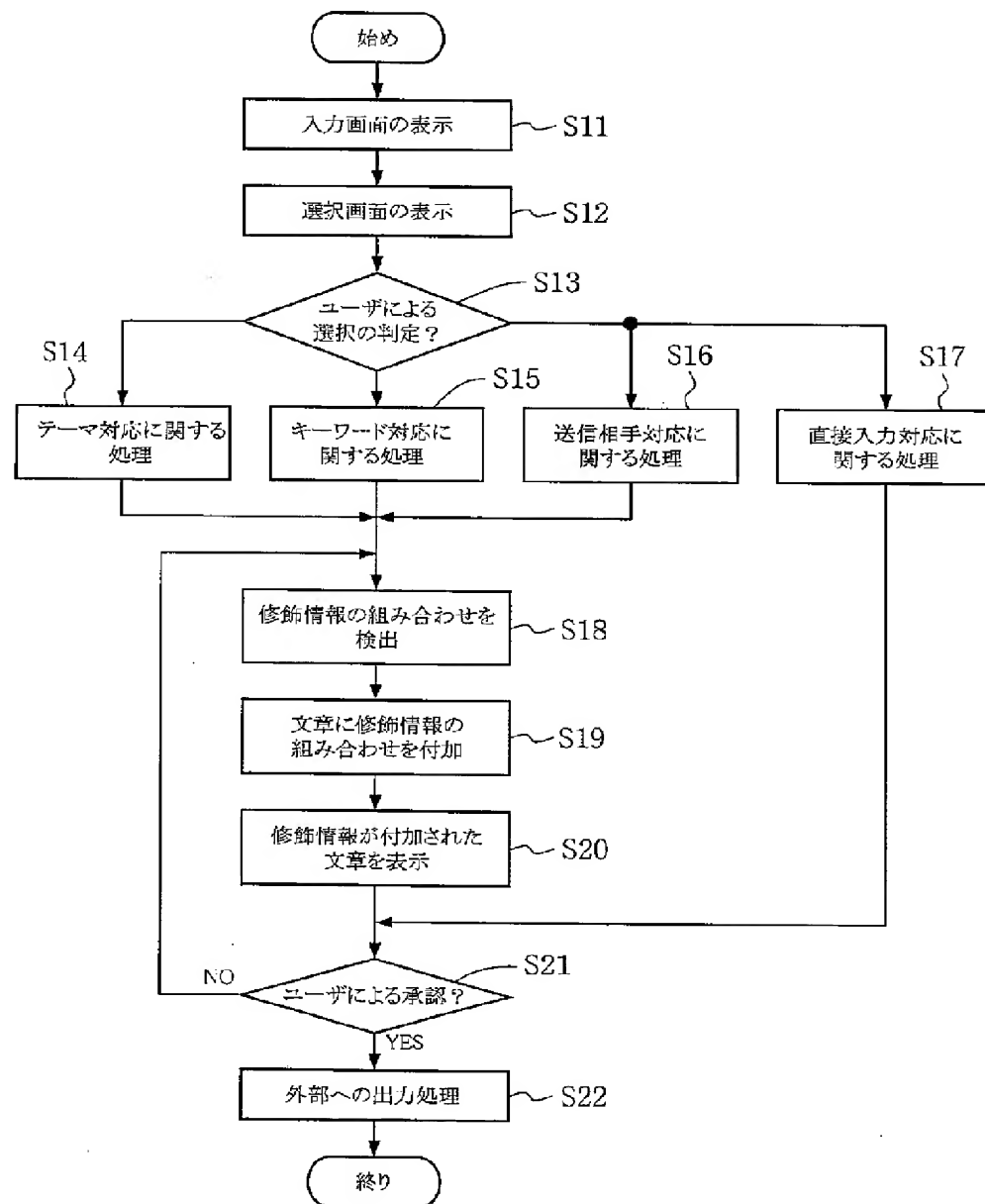
文章作成装置。

- [6] 請求項1記載の修飾情報付文章作成装置において、外部の機器から送信されたデータの修飾情報を解析し、それを上記修飾情報テーブルに登録する修飾情報解析登録部を有することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。
- [7] 請求項1記載の修飾情報付文章作成装置において、上記修飾情報テーブルは、最初から修飾情報を登録するための既登録部と、ユーザが新規に修飾情報を登録するための新規登録部と、外部の機器から送信された修飾情報を登録する外部登録部とを有することを特徴とする修飾情報付文章作成装置。

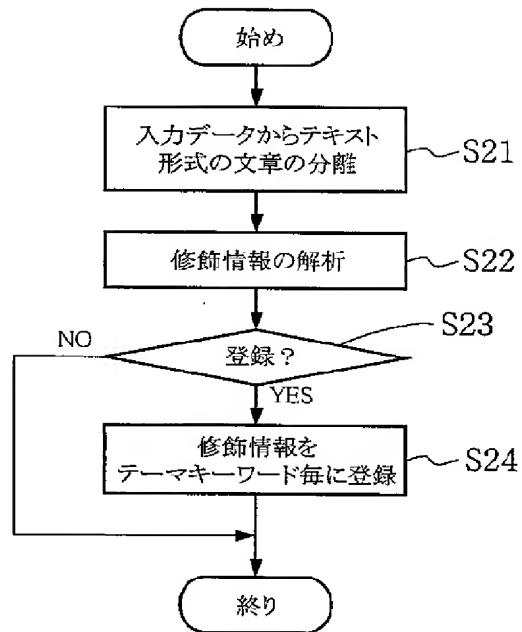
[図1]



[図2]



[図3]



[図4]

(A)

テーマ別修飾情報テーブル

テーマ	電光掲示板
文字色	オレンジ
背景色	黒
横スクロール	

(B)

キーワード別修飾情報テーブル

キーワード	有効期間
文字色	黒
背景色	黄
字体	絵文字

(C)

送信相手別修飾情報テーブル

送信相手	A
文字色	赤
背景色	白
字体	斜体

(D)

送信相手情報記憶部

送信相手	A
グループ	1
アドレス	〇〇×××
送信方法	ファイル／電話回線

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/018284

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
Int.Cl<sup>7</sup> G06F17/21-17/24

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> G06F17/21-17/24

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2005
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2005	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2005

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 06-119328 A (Fujitsu Ltd.), 28 April, 1994 (28.04.94), Full text; all drawings (Family: none)	1-2



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

\* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date  
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means  
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention  
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone  
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art  
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search  
11 March, 2005 (11.03.05)

Date of mailing of the international search report  
29 March, 2005 (29.03.05)

Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.



**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

PCT/JP2004/018284

**Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)**

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:  
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
  
2. ☐ Claims Nos.:  
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
  
3. ☐ Claims Nos.:  
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

**Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)**

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

The matter common to the inventions of claims (1-2) and the inventions of claims 3, (4-5), 6, 7 is all what is disclosed in claim 1.

However, the search has revealed that the aforementioned common matter is not novel since it is disclosed in document JP 06-119328 A (a combination of decoration information is added to a sentence according to "the style conversion table" which corresponds to "the decoration information table").

As a result, the aforementioned common matter makes no contribution over the prior art and cannot be a special technical feature within the meaning of PCT Rule 13.2, second sentence.

(Continued to extra sheet)

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
  
4. ☒ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.: 1-2

**Remark on Protest**

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

International application No.

PCT/JP2004/018284

Continuation of Box No.III of continuation of first sheet(2)

Accordingly, there exists no special technical feature common to the inventions of claims (1-2) and the inventions of claims 3, (4-5), 6, 7.

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/21-17/24

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> G06F17/21-17/24

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 06-119328 A (富士通株式会社) 1994. 04. 28, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-2

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

11. 03. 2005

国際調査報告の発送日 29. 3. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)  
郵便番号100-8915  
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

成瀬 博之

5M

9192

電話番号 03-3581-1101 内線 3597

## 第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT 17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。  
つまり、
2. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

## 第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるときの国際調査機関は認めた。

請求の範囲 (1-2) と請求の範囲 3, (4-5), 6, 7 のそれぞれに共通の事項は、いずれも請求の範囲 1 に記載される事項の全てである。

しかしながら、調査の結果、上記の共通の事項については、文献 J P 06-119328 A に開示されている (「修飾情報テーブル」に相当する「スタイル変換テーブル」に基づいて修飾情報の組み合わせを文章に付加する構成を参照されたい) から新規でないことが明らかになった。

その結果、上記の共通の事項は先行技術の域を出ないから、PCT規則13.2の第2文の意味において、この共通な事項は特別な技術的特徴ではない。

よって、請求の範囲 (1-2) と請求の範囲 3, (4-5), 6, 7 のそれぞれに共通の特別の技術的特徴はない。

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☒ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

1-2

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。  
☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。